



常緑樹の葉の入れ替えで、園内は落ち葉が増えています。八重桜はまだ十分楽しめますし、ツツジ類をはじめ、5月の花も蕾を膨らませています。ハンカチノキは例年より一週間早く、白い総苞片を出し始めました。

★開花情報

フデリンドウ（筆竜胆） リンドウ科リンドウ属（写真1）

2年草で日当たりのよい山野に生え、高さ5~10cmになります。花の様子が筆の穂先に似ていることから名付けられました。根生葉は近似種のハルリンドウのようなロゼット状にはなりません。リンドウ属の花は日が当たっているときだけ開きます。

場所：薬草園横、西ゲート入口横

ザイフリボク（采振り木）バラ科ザイフリボク属（写真2上）

山地に生える落葉小高木で、花は白く細長い花弁をつけます。この姿を采配に見立ててザイフリボク（采振り木）と呼ばれています。また、花を神社などにお供えする四手に例え、シデザクラという別名もあります。場所：多目的広場

リキュウバイ（利久梅、利休梅）バラ科ヤナギザクラ属（写真2下）

明治時代に渡来した中国原産の落葉低木で、庭木や切り花などに利用されます。白色の花弁は円形で、基部で急に細くなります。場所：管理事務所横三叉路、苗畑

★八重桜情報

兼六園菊桜（ケンロクエンキクザクラ）（写真3上）

日本三大庭園に数えられる、金沢市の兼六園に原木があり、孝明天皇により下賜されたと伝えられ、天然記念物に指定されましたが、1970年に枯死してします。後継樹が日本を代表する桜守の佐野藤右衛門らによって増殖され、現在に至ります。4月中旬から下旬に開花し、細い花弁が球形につく菊咲きで、緑色の葉の下に花がつきます。外側の花弁は淡紅色で、中心は濃紅色を帯び、花弁数は100~300枚です。場所：県木の森入口向い

全体的に色が濃い、佐野菊桜（写真3下）も咲いています。場所：県木の森横

その他サクラの開花状況

開花中…関山、楊貴妃、御衣黄、鬱金、白妙、江戸、紅普賢、松月、天の川、花笠、紅笠、菊桜

その他開花情報

木本…セイヨウバクチノキ、ハンカチノキ、ミツマタ、ツバキ各種、ドウダンツツジ、キシツツジ、キリシマツツジ、ヒラドツツジ、オウバイ、ハナミズキ、ハナズオウ、カラタチ 他

草本…エヒメアヤメ、オキナグサ、レンテンローズ（ハルサキクリスマスローズ）、スマレ、キランソウ、マツバウンラン 他

★イベント情報

今年も4月29日（火祝）に「みどりの集い」を開催します。アイスクリーム無料引換券配布や、苗木・飾り花プレゼント、親子木工教室、寄せ植え教室など緑に触れる催しが盛りだくさんです。ぜひお越しください。





写真1 フデリンドウ (薬草園横) H26.4.26



写真2上 ザイフリボク (ファミリー広場) H26.4.26



写真3上 兼六園菊桜 (県木の森向い) H26.4.26



写真2下 リキュバイ (車庫裏) H26.4.26



写真3下 佐野菊桜 (県木の森横) H26.4.26